

門別競馬場きゅう舎新築工事に伴う  
電気設備インフラ工事－ 2

特 記 仕 様 書

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

## 1. 総則

### 1-1. 工事の名称

門別競馬場きゅう舎新築工事（電気設備インフラ工事-2）

### 1-2. 発注者

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

〒055-0008 沙流郡日高町富川駒丘 76-1（門別競馬場内）

TEL 01456-2-2501

FAX 01456-2-2503

理事長 大鷹千秋

### 1-3. 工事の場所

北海道沙流郡日高町富川駒丘 76-5 ほか

### 1-4. 工事の目的

当該箇所において、きゅう舎新築に伴うきゅう舎エリア内及び業務エリア内設備の給電を目的とした電気インフラ（弱電）工事及び設備給電工事を実施する。

### 1-5. 概要

本工事は、きゅう舎エリア内設備への電気インフラ（弱電）の構築及び業務エリア内設備への電気インフラ（弱電）の構築工事である。

なお、本工事の工期内において、同一敷地内において別途工事が複数施工される計画である。きゅう舎建設工事の工事施工者（全8工区）のほか、きゅう舎建設用地整備工事（全8工区）の工事施工者とも相互に協力し円滑に工事を進捗させることを目的とした工事調整及び工事調整を行う統括管理業務者に協力すること。

また、本工事では以下の工事を実施する。

#### 【きゅう舎エリア内工事】

- ・通信設備工事 1 式
- ・ITV 設備工事 1 式
- ・自動火災報知設備工事 1 式

ほか

### 1-6. 工期

契約締結日の翌日から令和7年8月31日まで とする。

## 2. 適用

### 2-1. 適用基準（すべて最新版に準拠すること）

「公共建築工事標準仕様書（各工事編）」

「公共建築設備工事標準図（各工事編）」

「北海道建設部建設局建築整備課最新版設備機材等指定名簿」

「電気設備工事（配・分電盤等）標準仕様書 北海道建設部建設局建築整備課最新版」

「電気設備に関する技術基準を定める省令」

「内線規程」

さらに、上記共通仕様書及び後述の特記仕様書に記載の無い場合は、関連する要綱、指針、基準等に準拠し、その適用にあたって工事監督員と充分協議し承諾を得て進めること。

### 3. 特記仕様書

#### 3-1. 共通事項

本工事は、2-1. 適用基準に準拠する共通仕様書等及び電気設備インフラ工事－1及び電気設備インフラ工事－2の特記仕様書に基づき計画をする。

また、電気設備インフラ工事－2の特記仕様書内、電気設備共通事項の内容を追記及び下記に読み替えるものとする。

1. 追記：電気主任技術者は、電気設備工事現場開始日までに選任すること。
4. 読み替え：無償を損料等の費用は、設置者と協議すること。
5. 補足：交通誘導警備員は土木工事で配置されているが、費用に関しては土木工事業者と協議すること。
6. 補足：工事用動力水等は、引き込みしている業者と使用料を協議すること。
7. 読み替え：令和元年度版を最新版とする。
16. 読み替え：令和元年度版を最新版とする。
17. 追記：屋外の金属管は、塗装すること。
26. 追記：導入線のサイズは、1. 2mmとする。

建設地の気候等を鑑み、風雪時や寒冷期の凍結や機能障害などを考慮すること。

業務エリア及びきゅう舎エリア作業に於いて曜日、時間等の作業制限がかかることがある事を考慮すること。

既存棟の設備との切替工事に作業制限がかかることがあることを考慮すること。

落札者は、先に開始されている土木工事、建築工事の工事工程を確認及び調整をしてから工事開始をすること。

R6年度内の工事として既存競馬場エリア内の「弱電線ケーブル、光ケーブル程度」を見込むこと。

#### 3-2. きゅう舎エリア内工事

きゅう舎エリア内の各きゅう舎区画に供給する放送設備、TV 共聴設備、ITV 設備及び自動火災報知設備を整備すること。

また、業務施設エリアの管理事務室等で監視できるよう整備すること。（詳細は、設計図による）

##### （1） 通信設備

###### ・ 放送設備

既存管理事務室等の放送アンプをきゅう舎ブロック工事毎に切り替える計画とする。

きゅう舎エリア内に場内放送用の幹線工事を計画する。

きゅう舎エリア内場内放送幹線は、電気工事－1で計画された電柱を利用する計画とする。

また、きゅう舎エリアから既存管理室放送アンプへの放送用幹線を計画する。

きゅう舎エリアから既存管理室放送アンプまでの放送用幹線は、業務エリア内にお

いては、既存電柱を利用する計画とする。（詳細は、設計図による）

- TV 共聴設備

きゅう舎エリアに TV 共聴設備用の幹線工事を計画する。

きゅう舎エリア内場内 TV 共聴用幹線は、電気工事－1 で計画された電柱を利用する計画とする。

また、きゅう舎エリアから既存管理室への TV 共聴用幹線を計画する。

ただし、きゅう舎エリアから既存管理室までの TV 共聴用幹線は、業務エリア内においては、ITV 設備で計画されている光ケーブルの予備分を利用する計画とする。

（詳細は、設計図による）

（２） ITV 設備工事

A スタンドサーバー室にセンター装置を計画する。

既存管理事務所、既存警備員詰所に監視用モニターを計画、きゅう舎エリア内を ITV 監視できる計画とする。

きゅう舎エリア内に ITV 設備用の幹線工事を計画する。

きゅう舎エリア内 ITV 用幹線は、電気工事－1 で計画された電柱を利用する計画とする。

また、きゅう舎エリアから既存関連室等への ITV 設備用幹線を計画する。

きゅう舎エリアから既存関連室等までの ITV 設備用幹線は、業務エリア内においては、既存電柱を利用する計画とする。（詳細は、設計図による）

（３） 自動火災報知設備工事

既存管理事務所、既存警備員詰所に表示機を計画、きゅう舎エリア内を監視できる計画とする。

きゅう舎エリア内に自動火災報知設備用の幹線工事を計画する。

きゅう舎エリア内自動火災報知用幹線は、電気工事－1 で計画された電柱を利用する計画とする。

また、きゅう舎エリアから既存関連室等への自動火災報知設備用幹線を計画する。

きゅう舎エリアから既存関連室等までの自動火災報知設備用幹線は、業務エリア内においては、既存電柱を利用する計画とする。（詳細は、設計図による）

### 3-3. 各種調整事項

きゅう舎区画外には、公衆トイレ、馬乗降場所、ロンジング場（ロンギ場）、馬体重計量上屋、ゴミ庫その他付帯施設ほかの整備がある。

電気設備工事については、きゅう舎建設用地整備工事（強電インフラ）、きゅう舎建設用地整備工事（給排水等）の各工事との工事区分については、設計図を参照し各工事と調整し施工すること。

### 3-4. 統括管理者への協力

工区全体の工事工程の調整、全体敷地への搬入車両等の入退場の調整及び管理、工事定例の主宰は統括管理者が担う業務となります。本工区施工者は統括管理者が主導する各種調整に対して、他工区施工者と共に相互に協力し、自工区だけでなく工区全体の工事が円滑に進捗するように努めること。

### 3-5. その他

#### (1) 現場事務所・資材置場・駐車場等

工事施工にあたり門別競馬場敷地内には、現場事務所・資材置場・駐車場等を設置するスペースがないため、競馬場周辺かつ競馬開催に影響のない場所にスペースを確保すること。なお、工事総合定例の開催場所は公社が準備するものとする。

#### (2) 工事期間中の安全対策

工区の安全管理を行うこと。また、競馬開催日には総合的な安全対策を行うこと。

#### (3) 工程計画に関する注意事項

工事施工にあたっては、競馬開催の有無にかかわらず1年を通して、競走馬への配慮が必要です。特に音を伴う工事については、事前に監督員と十分な協議を行い競馬や工事に影響がないように調整すること。制限については別紙「工事作業制限範囲」を参照のこと。

#### (4) 設計変更への対応

設計変更が生じた場合はその都度協議すると共に、本仕様書は設計変更が生じた場合にはその都度、増廃、または追補するものとする。

#### (5) 補足事項

(電) 29図、30図の工事区分は、端子盤（きゅう舎建築工事）の一次側配線工事等を本工事とする。

(電) 31図、32図は、きゅう舎建築工事区分とする。

(電) 36図、37図、39図の工事区分は、きゅう舎事務所端子盤の一次側配線工事等を本工事とする。

(電) 38図は、きゅう舎建築工事区分とする。

# 計画位置図





## 工事作業制限範囲

